



「女性活躍」という言葉をよく耳にしますが、活躍の場は仕事ばかりではありません。地域社会で、職場で、家庭の中で、ボランティアとして、キャリアウーマンとして、又お母さんとしてそれぞれの立場で女性たちは工夫と労力を駆使して一生懸命生きています。

しかしながら、彼女たちを支えるべく、この社会の仕組みはまだまだ女性たちの味方をしてきているとは思えません。男性も女性も共に助け合い、互いに手をとり合ってより良い社会を築き上げることが出来ますように。

大久保地域センター事務局から

お知らせ

3階ロビーの作品展示を見に来ませんか？

前号でお知らせした作品展示の募集に対して、登録団体や住民の方から問い合わせを頂き、7月に水彩画、8月に俳句の展示会を開催しました。次回は中国の切り絵の展示を予定しています。お楽しみに！

7月1日～31日 登録団体『キサラギ会』水彩画作品展示 * * * 約20年前から静物や風景のスケッチを中心に、各々の個性を尊重した創作活動を続けています。



8月1日～31日 登録団体『春耕・新宿戸山俳句会』俳句作品展示 * * * 創設は32年前。高幡不動尊の新年俳句大会等に参加。夏を詠んだ句を、簾と折り紙で展示しました。



行事予定 ※行事は変更になることがあります。

- ※朗読会 令和3年11月23日
※フラワーアレンジメント教室 令和3年11月29日
※水引工芸にチャレンジしよう 令和3年12月中
※日本の音曲あれこれ 令和4年1月16日
※親子パン教室 令和4年2月27日

問い合わせ TEL 03 (3209) 3961 大久保地域センター FAX 03 (3209) 3962

日本文化を楽しむ

『琵琶がたり』をデジタル開催しました 3月18日～31日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客で収録した演奏動画を個別でデジタル観賞して頂く行事を、初の試みとして開催しました。

館内では、感染対策を講じて、一人づつDVDを視聴するコーナーを設置。センターHP上にもアップしたところ、130回以上のアクセスを頂きました。



奏者：筑前琵琶 横井旭壽 演目：『船弁慶』『禪師と政宗』 ナレーション：加藤登美子 HPでバナーをクリックすると視聴できます。♪

大久保小学校一年生の朝顔 たくさんの花が咲きましたよ♡

6月下旬、大久保小学校の一年生から、大事に育てた朝顔を頂きました。大久保地域センター4階のペランダで、すくすくと葉を生い茂らせ、8月中旬には毎朝、十輪前後が花開きました。



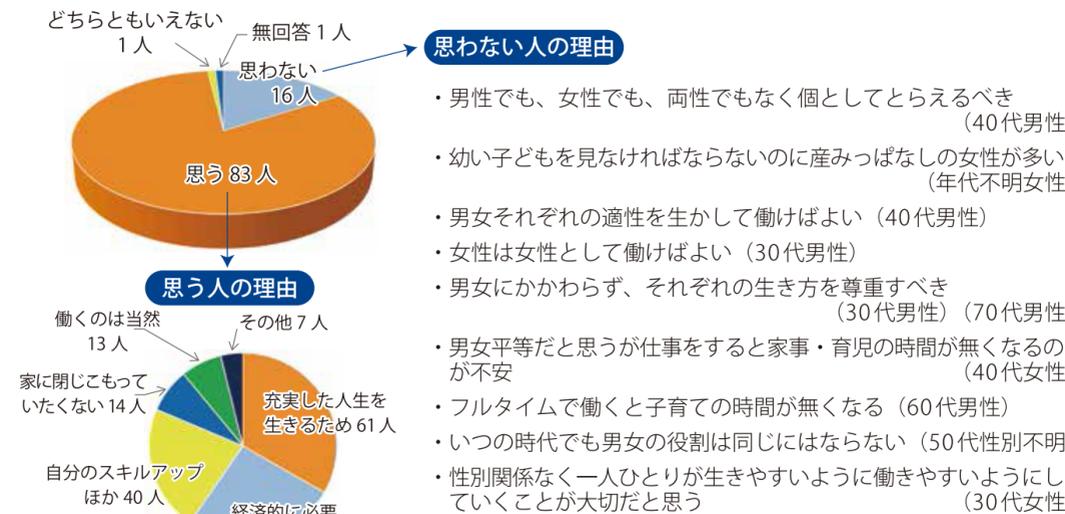
編集後記

コロナの収束を祈りながら、蝉の大合唱に背を押されながら編集を終えました。楽しんでいただけますように。

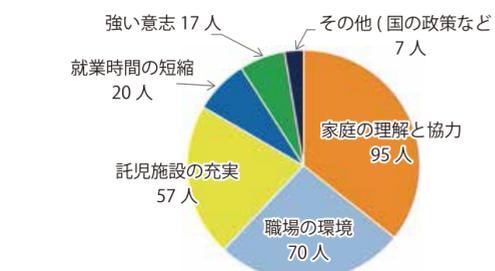
「女性の生き方、意識について」のアンケートにご協力頂き、ありがとうございました。ご協力頂くことになった発端は、仕事を持った女性が、一人で家事・育児に奮闘して疲れ切っている、そんな現実を伝え聞いたことからです。私たちはこの方一人の問題ではないと感じました。そして皆様の声を聞きたいと思い、大久保地域に生活拠点をおく20代から70代のおよそ200人の方を対象にアンケートをお願いし、101人の方から回答を頂きました。

アンケート結果

現代の女性は男性と同じような権利のもとに働くべき、あるいは働きたいと思いませんか？ (複数回答)



仕事と家庭を両立させるためには何が重要だと思いますか？ (複数回答)



家事分担が女性にとって荷重だと思いますか？



困った時にサポートしてくれる人はいますか？ (複数回答)



女性差別を感じたことはありますか？



興味深い、貴重なご意見をたくさん頂きましたが、紙面の都合上2部に分けてご報告することに致しました。次号では、アンケートにお寄せ頂いた、多文化の街、大久後地域という環境に対する思い、ジェンダー問題に対するご意見など掲載いたします。

仕事と家事と子育てそして社会参加も



60代のご夫婦

Q1 結婚前のお互いの仕事への理解度は？
具体的な話し合いをしましたか？

夫 結婚前、私はサラリーマン時代がありました。その後、家業を継ぐことになりました。妻から「私は商人ではなく、会社員と結婚したんですから」と言われましたが、いずれ商売をしていく覚悟は、多分していたみたいです。

妻 当時はまだ会社員でしたが、いずれ家業を継ぐという話がありました。

Q2 当初の子育てや家事の現状は
いかがでしたか？

夫 最初の頃はすべて妻まかせでしたが、会社員と違って一緒に働かなくてはいけないので、今は、朝昼の食事は自分で作ったりとか分業しています。その間、ぶつかり合いは多少ありましたが、だんだん今の形に落ち着いていきました。

妻 結婚当初は、昔気質の祖母と同居で、男が家事なんて、まして長男が、とんでも

ないという雰囲気だったので、このままでは夫がどんな父親になるか心配でした。しかし、夫の本音は「自分も育児に参加したかったんだけど」と後になって聞いて、彼の立場と気持ちを理解しました。

夫 大変だったのは、親の介護でした。弟と交代で病院に泊まり込みでしたので、その間、妻が商売のことは全部やってくれてとても助かりました。「お父さん頑張ってください。しゃい」と優しく送り出してくれました。

Q3 お仕事、常に一緒ということについて
どう感じていますか？

夫 二人同じ空間にいても、同じ考え方をするわけじゃないですし、いろんなことが伝わりやすいし、言葉での説明が良い意味で短縮できますね。

妻 義父も夫も、店の商売に一生懸命でしたし、何事もそれが最優先でした。

Q5 仲の良いご夫婦の秘訣は？

夫 仲が良いかどうかわかりませんが、昔は、よく怒っていました。最近では、自分が負けると思った時は止めた方が良く、これ以上言うと面倒くさいことになるわかってきたので、喧嘩にならなくなってきました。家庭内の力関係で言ったら僕が下だと思っ

妻 二人とも山登りが趣味なので、彼女の計画がよく旅行に出かけていますね。



40代のご夫婦

お互いを認め合うことの大切さを

大久保地域にお住いの世代の異なる二組のご夫婦から、家庭内の男女平等について。お互いの違いを認め合う生き方についてなど伺いました。



共に思いやりと理解を持って

価値観の違いに葛藤がありました

家業を継がれた夫のS氏との結婚生活についてアーチストとして演奏活動を続けておられる夫人は「5年くらいはよくケンカしました。お互いの育った環境や価値観の違いに話がかみ合わず、いつも心の葛藤がありました」微笑みながらそう語ります。お子さんが生まれて忙しくなっても夫との家事・育児の分担は決まらなかったそうです。なぜ？の問いに、「特に決めなくても何が必要か、何をすべきか見ればわかるはず」とのこと。なるほど、大人ですものね、と昭和世代は時代を感じます。

「10年たつてお互いに悟りや理解が育ってきました。夫は何も言わなくても（もしかして私が言ったかも。笑）当たり前のように3人の子どもの世話、そして洗濯は全部自分の担当としています。私も夫の協力を得て、少しづつ仕事ができるようになりました」家庭の中で男女格差はあり得ないし、昭和世代がまだ引きずっている「耐える」という言葉は私の選択肢にはないときっぱり言われました。

男女平等は頭に叩き込まれて・・・

S氏とお話ししました。「結婚された時、学生だったと伺いましたが、卒業したら家業を継ぐこと、夫人の仕事についてなど話し合われましたか」

「いや何も話し合っていません。僕自身のことや妻が仕事を続けることも自然の流れで、話し合う必要を感じませんでしたから。何か話し合おうとするとケンカになってしまうので」と笑いながら話されるさわやかで明るい方でした。

「妻が無言の圧力をかけてこなかったら僕はぐうたら亭主になっていたでしょう」というお話には笑いました。家事や育児についても始めは何をしたら良いのかわからなかったそうです。妻の手が回らなくなり、こちらも手を出さざるを得なくなつたので洗濯や、食器洗いなどが目に入ったとか。家事・育児は女性の仕事などと思つたことはないとも言われました。「男女平等は僕らの世代、頭に叩き込まれたからね」という言葉と共に。

私自身も、今でこそ合間をみて、自分の時間を持つことが可能になりましたが、家業を優先することを実践していました。

Q4 地域とつながる社会活動に、ご夫婦ともに参加されている中で、仕事、家事についてお互いどのように協力されていますか？

夫 社会活動は二人共携わっているのですが、お互い理解し合えるし、地域や商店街との関わりの中で視野も広がります。是非若い人たちの繋がり大切さを再認識してほしいと思います。

妻 カレンダーに予定を書いてお互い見ながらやっています。時には夫婦間のダブルブッキングが生じますが、だいたい僕が折れることが多いです。

夫 お互い社会活動ができることは、とても良いことだと思っています。今、それぞれ地域の活動をしていますが、どうしても日時がぶつかってしまった時は、基本的には私が譲っています。夫はそうじゃないと思っ

お役立ち情報

- ・子どもと家庭の総合相談
子どもの心身の発達に関する相談
新宿区立子ども総合センター ☎03-3232-0675
- ・子育て全般に関する相談
新宿区東新宿保健センター ☎03-3200-1026
- ・高齢者・介護に関する相談
新宿区高齢者総合相談センター ☎03-5332-5585（大久保）
- ・DV、セクシュアルハラスメント、夫婦・親子の問題、
生き方や職場の人間関係などの悩み相談
東京ウィメンズプラザ相談室 ☎03-5467-2455
- ・パートナー等の暴力被害に関する相談
新宿区DV相談ダイヤル ☎03-5273-2670
- ・女性の生活・施設等に関する相談
新宿区福祉事務所 生活福祉課相談支援係 ☎03-5273-3884



今は、尊敬する義母と夫に感謝しています

「仕事や家事、おまけに孫の面倒も見ながら社会活動に携わっている義母を尊敬しています。私も子育てを卒業したら地域のために何かお役に立てることをしたいと思っています」うれしい言葉と最後に貴重な締めめの言葉を頂きました。

「私は結婚に至るまで10年の時間を過ごしましたが、キャリアを積んできた女性にとって結婚のハードルはまだ高いと思います。女性が働くことが当たり前な時代、お互いの仕事と生活をどう付き合わせていくか問題はたくさんありますから。私の場合は夫が学生だったので、当然私が生活を支えることになり、導入的にはよかつたのかもしれない。そして今では夫に心から感謝しています」

何より、子どもが幸せを感じる家庭でありたい

理想的な家庭について「何より、子どもが幸せだと感じてくれる家庭です。子ども達がこの家族の中で本当に幸せを感じながら成長してくれることが理想です」個別にお話を伺ったのに、期せずして全く同じ答えが返ってきました。お二人とも40代に突入したばかり、お互いに思いやりと理解をもって子ども達を育てていきたいと、言葉を合わせて言われた素敵なお夫婦でした。